

リヤカーを引き30年間で地球一周4万キロを歩いた男

植村直己冒険賞受賞



てくてく冒険家 永瀬忠志 アフリカを行く

サハラ砂漠徒歩縦断1万1千100キロの記録映像

製作構成八頭司 享 撮影永瀬 忠志 編集八頭司 重信 音響山川 暢之



パリ凱旋門にゴール



自分との闘いに 挑戦する一人の男

■リヤカーマン語録①

まだ会ったことのない人と出会い
まだ見たことのない自然と出会い
そして、自分でも知らなかった自分と出会う



■リヤカーマン語録②

ゆっくり歩いて行こう
ゆっくり歩いていけば、
それだけ多くのことが心に刻まれる。
ゆっくり生きていこう
ゆっくり生きていけば、
それだけ生きていることをより感じ
ながら生きていける。
だから…ゆっくり歩いて行こう。



リヤカーを引き30年間で地球一周4万キロを歩いた男

植村直己冒険賞受賞



てくてく冒険家 永瀬心也 アフリカを行く



サハラ砂漠徒歩縦断1万1千100キロの記録映像

果てしなく遠い旅…

一歩一歩大地を踏みしめて今日もここまで歩いた。

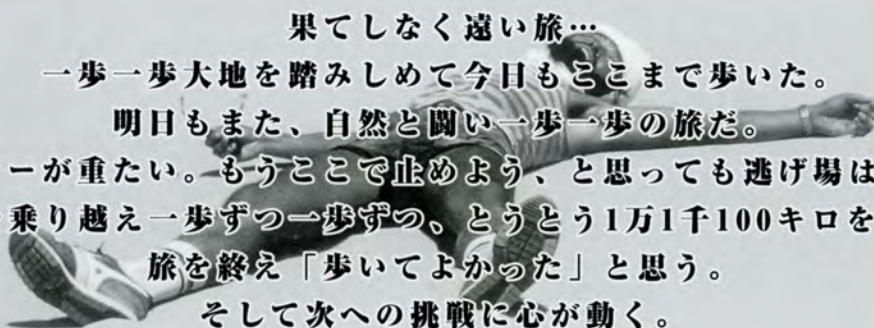
明日もまた、自然と闘い一歩一歩の旅だ。

リヤカーが重たい。もうここで止めよう、と思っても逃げ場はない。

苦しみを乗り越え一歩ずつ一歩ずつ。とうとう1万1千100キロを歩いた。

旅を終え「歩いてよかった」と思う。

そして次への挑戦に心が動く。



はじめは、小さな旅だった。
小学四年生のある日曜日、上級生につれられて、自転車で二十キロほどの「地区一周」をした。はじめての遠出だった。
それから、少しずつ自転車で遠くへ行くようになった。
大学生になって歩くようになったときも、はじめは自分がどれくらい歩けるのかわからなかった。
それで、出発前にまずために二十キロほど歩いてみた。
四時間で歩けた。一時間に五キロくらい歩けることがわかった。
旅に出る前は、いつも不安だ。
アフリカを歩く前も、不安だった。もしサバンナで動物におそれたらどうしよう、ジャングルで病気になったらどうしよう、サハラ砂漠で水がなくなったらどうしよう……。

いろいろと考えてしまう。
不安なまま、歩き始める。一歩ずつ、ゆっくり歩いていく。
つかれて、体が思うように動かなくなったり、人にかかわれたり冷たくされたときに、何回も、「もう歩く旅はやめたい」と思った。「二度と歩く旅はするものか」と強く思う。
そんな旅の中で、ふと「ここまで歩いてきてよかった」と思うときがある。
それは、やさしい人と出会ったり、一日を歩きおえて、きれいな夕焼けを見たときなどだ。人は言葉が通じなくて、無言でも、表情や動作で心は通じあえた。
そして目的地へ着き、旅が終わったとたん「歩いてよかった」と思う。
最後まで歩きとおしたことがうれしい。
自身がついてくる。「もっと歩けるかもしれない」と思ってくる。
今までも、一つの旅を終えるごとに自信がつき、次の旅へチャレンジしてきた。
小学生のころからの、一つ一つの積みかさねだ。一歩一歩の積みかさねだ。

小さな一歩だが、積みかさねることによって、一万千キロになっていく。
歩いているとちゅう、「一万千キロも歩けそうにない」と弱気になったが、「あと十日だけ歩こう」と、できそうなことから積みかさねていったら、やがてパリへ着くことができた。
今はできそうにないと思っていることでも、できそうな小さなことから一つずつ進めていけば、いつかできるかもしれない。
小さい一歩の積みかさねが大切だと思う。

年	歩いたところ	距離	日数
1975年	日本徒歩縦断	3200km	70日
1978~79年	オーストラリア大陸徒歩横断	4200km	100日
1982~83年	アフリカ大陸徒歩横断	6700km	216日
1987年	韓国徒歩縦断	466km	11日
1988年	スリランカ徒歩横断	360km	9日
1988~89年	台湾徒歩縦断	536km	14日
1989~90年	アフリカ大陸徒歩横断・サハラ砂漠徒歩縦断	11100km	376日
1992年	ジャワ島徒歩横断…成らず	253km	7日
1995年	マレー半島徒歩横断	408km	11日
1996年	南インド徒歩横断	562km	18日
1997年	パラワン島徒歩縦断	414km	11日
1998年	モンゴル徒歩縦断	864km	25日
1999年	タイ北部徒歩横断	596km	15日
2000年	タクラマカン砂漠徒歩縦断	590km	11日
2001年	紀伊半島徒歩横断	155km	5日
2001年	カラハリ砂漠徒歩縦断	591km	14日
2003~04年	南アメリカ大陸徒歩縦断	8800km	266日
2004年	沖縄島徒歩一周	312km	8日
2005年	日本徒歩縦断	3000km	79日

印はリヤカーを引く。あとはリュックサックを背負って歩く。



共和教育映画社

〒530-0028 大阪市北区万歳町4-12 浪速ビル6F

TEL.06 (6312) 2645 FAX.06 (6315) 8595

URL <http://www.kyowafilm.com> E-mail avl@kyowafilm.com